

## 1 認定看護管理者教育課程概要

**教育理念** 看護管理者には時代の変化を先取りし、看護実践現場において看護サービスの質を維持・向上させる重要な責務がある。本センターは、看護管理者の重要な責務に基づき主体的なリーダーシップを発揮し、社会に貢献できる人材を育成する。

## (1) ファーストレベル : 117 時間 (日本看護協会規定 105 時間、その他 12 時間)

## 【教育目的】

看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得する。

## 【到達目標】

- ① ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- ② 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- ③ 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

教 科 目	単 元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論 I	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム、地域共生社会	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規、倫理綱領、看護業務基準	
組織管理論 I	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	15
	看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	
人材管理 I	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理(メンタルヘルスを含む) ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	30
	看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	
	人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	
資源管理 I	経営資源と管理の基礎知識	・診療 ・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済効果	15
	看護実践における情報管理	・医療 ・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題(情報リテラシー)	
質管理 I	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善 ・看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録	15
統合演習 I	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。	15
			合計 105
その他	開講式 ・ ガイダンス I	・オリエンテーション	3
	ガイダンス II	・交流会	3
	ガイダンス III	・問題解決思考	3
	閉講式 ・ 成果発表	・成果発表	3
			総合計 117

(2) セカンドレベル : 195 時間 ( 日本看護協会規程 180 時間 、その他 15 時間 )

【 教育目的 】

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【 到達目標 】

- ① 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- ② 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

教科目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅱ	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移	15
	保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種におけるチームケア提供の実際と課題	
組織管理論Ⅱ	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革 ・組織の意思決定	30
	看護実践の倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	
人材管理Ⅱ	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	45
	多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成	
	人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	
資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備	15
	看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用	
質管理Ⅱ	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	30
	安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策	
統合演習Ⅱ	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	45
	実習	・地域医療連携を理解するための他施設実習を行う	
			合計 180
その他	開講式・特別講義	・受講者に期待すること等	3
	ガイダンスⅠ	・オリエンテーション	3
	ガイダンスⅡ	・交流会	3
	ガイダンスⅢ	・問題解決思考	3
	閉講式・成果発表	・成果発表会	3
			総合計 195

(3) サードレベル : 195 時間 ( 日本看護協会規程 180 時間 、その他 15 時間 )

【 教育目的 】

- ① 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【 到達目標 】

- ① 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる  
 ② 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。  
 ③ 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

教科目	単元	教育内容	時間
ヘルスケアシステム論Ⅲ	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHO の活動、国連 SDGs 等	30
	看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護制度に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響	
	ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ) ・NGO、NPO へのヘルスケアサービス ・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築 ・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用	
組織管理論Ⅲ	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間ネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	30
	組織における倫理	・組織における倫理的問題 ・倫理的問題に対する組織的対応	
人材管理Ⅲ	社会システムと労務管理	・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応	15
	看護管理者の育成	・看護管理者の能力開発、活用	
資源管理Ⅲ	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題 ・戦略策定	30
	財務管理	・財務会計 ・管理会計 ・資金管理	
	組織的情報管理	・関係法規の遵守 ・地域における情報共有・活用	
質管理Ⅲ	経営と質管理	・ガバナンスとアカウンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用 ・第三者評価	30
	組織の安全管理	・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策 ・危機管理	
統合演習Ⅲ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する	45
	実習	・経営を実際に学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する	
			合計 180
その他	開講式・特別講義	・受講者に期待すること 等	3
	ガイダンスⅠ	・オリエンテーション	3
	ガイダンスⅡ	・交流会	3
	ガイダンスⅢ	・問題解決思考	3
	閉講式・成果発表	・成果発表会	3
			総合計 195

## 2 応募について

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
受講要件	①学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 ④管理業務に関心のある者	①学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 ④認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者 ※副看護部長相当の職位とは、保険医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。	①学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ②日本国の看護師免許を有する者 ③看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 ④認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者
研修開催期間	【年1回開講】 2024年10月11日(金)～2025年1月18日(土)・2月21日(金) 金曜日・土曜日を主体とする (講師の都合で日曜日開催もある)	【年1回開講】 2024年5月10日(金)～9月27日(金)・10月25日(金) 金曜日・土曜日を主体とする (講師の都合で日曜日開催もある)	【年1回開講】 2024年9月6日(金)～2025年2月8日(土)・2月28日(金) 金曜日・土曜日を主体とする (講師の都合で日曜日開催もある)
開催時間	原則 9:30～16:30	原則 9:30～16:30	原則 9:30～16:30
研修日数	20日間	32.5日間	32.5日間
応募期間	2024年7月1日(月)～7月31日(水) (消印有効)	2024年2月1日(木)～2月29日(木) (消印有効)	2024年5月1日(水)～5月31日(金) (消印有効)
定員	70名	70名	30名
選考方法	1. 受講要件を満たしている 2. 小論文		
選考結果	8月末に通知	3月末に通知	6月末に通知
開催場所	〒107-8402 東京都港区赤坂4丁目1番26号 国際医療福祉大学 生涯学習センター Tel:03-5574-3835(直通) Fax:03-5574-3836		
申し込み時提出書類等	1. 2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書 <様式1> 2. 小論文 テーマ「受講動機について」 ・400字～450字 ・小論文は、募集要項にある所定の書式に沿って記載すること 3. 応募期間中に郵送物の郵送経過のわかる「レターパックライト」で申し込んでください 4. 受講決定通知の返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封してください	1. 2024年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 <様式2> 2. セカンドレベル受講要件別確認表 <様式3> 3. 勤務証明書 <様式6> 受講要件別必要書類参照 4. 応募期間中に郵送物の郵送経過のわかる「レターパックライト」で申し込んでください 5. 小論文 テーマ「自部署における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」 ・1,000字～1,050字 ・小論文は、募集要項にある所定の書式に沿って記載すること 6. 受講決定通知の返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封してください	1. 2024年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 <様式4> 2. サードレベル受講要件別確認表 <様式5> 3. 勤務証明書 <様式6> 受講要件別必要書類参照 4. 応募期間中に郵送物の郵送経過のわかる「レターパックライト」で申し込んでください 5. 小論文 テーマ「自組織における看護管理上の課題について自職位の立場で述べる」 ・1,200字～1,250字 ・小論文は、募集要項にある所定の書式に沿って記載すること 6. 受講決定通知の返信用「レターパックライト」に住所・氏名を明記し、同封してください
出願料	10,000円(税込) 【振込先】銀行・支店:みずほ銀行 赤坂支店(539) 種別:普通 口座番号:2344650 口座名義:学校法人国際医療福祉大学大学院		
受講料	198,000円(税込) (レポート審査、修了判定料含)	240,000円(税込) (レポート審査、修了判定料含)	342,000円(税込) (レポート審査、修了判定料含)
修了基準	① 出席:各教科目の5分の4以上の出席 ② 各教科目の課題レポート合格 ABCDの4段階(A:80点以上、B:79点～70点、C:69点～60点、D:59点以下)とし、C以上を合格とする		

※本課程を修了すると、「認定看護管理者教育課程修了証書」とともに、学校教育法の規定に基づくプログラムであることを示した「履修証明書」を交付いたします。

※看護管理者のキャリア支援の一事業として、認定看護管理者教育修了者フォローアップ研修を実施いたします。





## 4 受講申し込み

### (1) 提出書類

- ・申し込み書類は、国際医療福祉大学生涯学習センターのホームページ「募集要項」からダウンロードできます  
<https://www.iuhw.ac.jp/mcec/tokyo/index.html>

### (2) 申し込み方法

- ・申し込み期間中に、郵送経過がわかる「レターパックライト」でお申し込みください
- ・出願料振込金の領収書(コピー)は、各認定看護管理者教育課程の申込書  
〈様式1〉〈様式2〉〈様式4〉の裏に貼付してください
- ・複数名を取りまとめた申し込みの場合は、各自の所定用紙および、受講決定通知の返信用の「レターパックライト」を、申込人数分同封願います

### (3) 出願料

- ・出願料の振り込みは、出願者本人氏名としてください
- ・振込手数料は、ご負担ください
- ・期日までに振り込みの確認ができない場合、申し込みを受理できません

### (4) 申し込み先

〒107-8402 東京都港区赤坂4丁目1番26号  
国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス内 生涯学習センター  
電話:03-5574-3835(直通)

### (5) 受講決定

- ・受講決定通知書を送付します
- ・受講決定通知書には、受講料の振込先と振り込み期日を記載していますので、期日までにお振込をお願いします
- ・振り込みが確認できない場合は、受講できません
- ・辞退希望の場合は電話連絡をお願いします

### (6) その他

- ・出願料、受講料の返還はいたしません

### 東京赤坂キャンパスへのアクセス



○銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出入口より徒歩3分

○千代田線「赤坂駅」徒歩8分

○有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A出入口より徒歩6分

## 申し込み所定用紙

- 各課程別提出書類チェック表
  
- <様式1> 2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書 1枚
  
- <様式2> 2024年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 1枚
  
- <様式3>「セカンドレベル」受講要件別確認表 1枚
  
- <様式4> 2024年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 1枚
  
- <様式5>「サードレベル」受講要件別確認表 1枚
  
- <様式6> 勤務証明書

受講番号

2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル申込書

記入日： 年 月 日

ふりがな		
氏名		
自宅住所	〒	
	(必須) 日中、連絡の取れる電話番号： _____	
	E-mailアドレス： _____	
	Gmailアドレス： _____	
勤務先	施設名： _____	
	〒 _____  電話番号： (      )	
看護師 免許	看護師免許番号： _____	取得年月日： _____
看護職実務経験年数 (通算)	年 _____	
現在の勤務先での経験年数 (通算)	年 _____	
職業実践プログラムの要件 (学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる) を満たしている。	<input type="checkbox"/> 満たしている	

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。  
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。



受講番号

2024年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書

記入日： 年 月 日

ふりがな		
氏名		
自宅住所	〒	
	(必須) 日中、連絡の取れる電話番号：	
	E-mailアドレス：	
	Gmailアドレス：	
勤務先	施設名：	
	〒	
	電話番号： ( )	
看護師 免許	看護師免許番号：	取得年月日：
看護職実務経験年数 (通算)	年	
現在の勤務先での経験年数 (通算)	年	
職業実践プログラムの要件 (学校教育法第 90 条に規定する大学に入学することができる) を満たしている。	<input type="checkbox"/> 満たしている	

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。  
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

## 「セカンドレベル」受講要件別確認表

氏名 \_\_\_\_\_

受講要件により提出書類が異なります。以下2項目のうち該当する番号1つに○をつけ、必要書類を添付してください。(1については必要事項を記入してください。)

番号	受講要件	必要書類
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者</li> <li>日本国の看護師免許を有する者</li> <li>看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者</li> </ul>	① 看護師免許証の写し (A4サイズ)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者</li> </ul> <p>ファーストレベル教育機関名 _____</p> <p>修了年月日 _____年 _____月 _____日</p>	① 2024年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 < 様式 2 >  ② ファーストレベル修了証の写し  <b>※ 勤務証明書は不要</b>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者</li> </ul> <p>※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す</p>	① 2024年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル申込書 < 様式 2 >  ② 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書  < 様式 6 >

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。  
個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。



## 「サードレベル」受講要件別確認表

氏名 \_\_\_\_\_

受講要件により提出書類が異なります。以下2項目の要件のうち該当する番号1つに○をつけ、必要書類を添付してください。(1. については必要事項を記入してください。)

番号	受講要件	必要書類
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者</li> <li>日本国の看護師免許を有する者</li> <li>看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者</li> </ul>	① 看護師免許証の写し (A4サイズ)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者</li> </ul> <p>セカンドレベル教育機関名</p> <p>_____</p> <p>修了年月日</p> <p>_____年 _____月 _____日</p>	① 2024年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 < 様式4 >  ② セカンドレベル修了証の写し  <b>※ 勤務証明書は不要</b>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者</li> </ul>	① 2024年度 認定看護管理者教育課程サードレベル申込書 < 様式4 >  ② 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 < 様式6 >

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。  
 個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。

## 勤 務 証 明 書

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

### 1. 在職期間

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月より

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月まで 通算 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月間

### 2. 職位

(1)上記の者は当施設において、以下の職位であることを証明します。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月より

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月まで (現在まで) 職位 \_\_\_\_\_

(2)当てはまる職位にレ点を付けてください。

上記の者の職位は受講要件に関わる

看護部長相当であることを証明します

副看護部長相当の職位に1年以上就いていることを証明します

施設名 :

所在地 :

施設長名 :

印

※本書1枚で受講要件（副看護部長相当の職位に1年以上就いている者）を証明できない場合は、本書を複写し、複数枚提出してください。

※個人情報の取り扱いは、国際医療福祉大学個人情報保護規定に基づき適切に行います。

個人情報は、受講者選考、選考結果の通知、受講手続きのお知らせ以外に使用いたしません。